中山間地域再興ビジョンに係る意見概要 (関係団体ヒアリング)

相手方	実施日
高知県農業協同組合中央会 代表理事	R5.6.6
高知県森林組合連合会 代表理事	R5.5.25
高知県漁業協同組合 代表理事	R5.5.25
高知県商工会連合会 会長	R5.5.18
高知県バス協会 会長	R5.5.24
四国銀行 常務取締役	R5.6.2
高知銀行 代表取締役頭取	R5.6.5
土佐経済同友会 代表理事	R5.6.12

【主な意見】

人口減少と少子高齢化に起因する担い手不足を危惧する意見が大多数。

1. ビジョンに対 するご意見・要 望、その他	 ・ビジョンを作るのは大事なこと。大いに進めてほしい。 ・人口を増やすのは大変なこと。地域に若者がいないと寂れていく。 ・女性の視点を重視した方がいい。若い女性が残る魅力的な地域になれば、男性も来てくれる。 ・どうしたら地域に仲間を残せるか、若者の話を聞く機会をもってほしい。 ・策定にあたっては、地域の取組の現状を見ておいてほしい。現場を知ることが重要。
2.「くらし」に 関すること	 ・買い物については、移動販売もあることから、困っているという声はあまり聞かない。 ・介護人材が不足しており、現場では人の取り合いにもなっている。 ・医師不足により病院が減っている。産婦人科や小児科がないことは移住のネックにもなる。
3. 「活力」に関すること	 ・地域の集落活動センターも少子高齢化、人手不足により運営が難しくなっている。 継続のための支援が必要。そうしないと、集落活動センターは地域の核にはなり えないと思う。 (移住・担い手) ・どこの会社も人手不足。人材確保にはUIターンが重要。 ・今の若者は、仕事にやりがいを求めている。 ・若者を地域に根付かせるためには魅力が必要。地元でも素晴らしい生き方、働き 方、人生の過ごし方ができることを示すことが必要。地元の人が気づかない魅力 に気づく移住者のような視点をもって、高知の魅力を県が前面に押しだし、火種 をつけていく方が、引き留める発想よりも長く続くのではないか。 (教育) ・地元にある仕事を知らない高校生も多い。地元にどんな仕事があるかを知っても らわないといけない。 ・地域を知ってもらうことで、一旦地元から出たとしても戻ってきてくれる子ども を育てていくような取り組みをもっと進めるべき。

すること

- 3. 「活力」に関 · 地域に子どもを増やすには、教育が重要。どこの高校に行っても同じレベルにな れるのが理想。
 - ・四万十町では町営塾の取り組みの成果が出始めている。進学を機に移住するケー スもあるが、地元にいても自分の進路希望を実現できるという成功事例ができる ことで、親世代の意識も変わってきている。

- ・デジタルの環境整備が急務。山間部ほどインフラを整備し、条件を整えないとい けない。
- ・デジタル化が進み、働き方も変わってきている中で、無線通信環境やコワーキン グスペースといった受け皿があることが重要。全県的に無線通信環境を整え、先 進地として発信することも価値があるのでは。

4.「しごと」に 関すること

- ・地域に人を残すには、稼げる仕事が必要。持続可能な価格形成、価格転嫁が必要。 中山間で暮らしていける仕組みづくりをしないといけない。
- ・中山間地域は土地の面積も小さく、効率も悪いため、農業だけでは難しい。農業 プラス何かでないといけない。
- ・森林資源は豊富だが、人手が足りない。
- ・女性の林業就業について、津野町で受入実績がある。機械を使った搬出作業であ れば、男女は関係ない。
- ・漁業の担い手が減っているのが課題。外国人を雇わないと回らない。

□ これらの意見も踏まえ、取り組みの強化に向けて、全庁を挙げて 前向きに対応を検討。